

●映像☆製作☆詳報

◎山中貞雄生誕百年を記念したドキュメンタリー映画

DM「貞雄く」、12月19日よりC・ヌーヴォで上映

★映画監督・山中貞雄生誕100年を記念したドキュメンタリー映画「貞雄に皆さんのこと―素顔の山中貞雄」（製作：デジタル・ミーム）が、12月19日（土）から大阪Ⅱシネ・ヌーヴォにて上映される。

▼山中貞雄は、日本映画の最初の黄金期と呼ばれる戦前の日本映画界に彗星のように現れ、監督第1作「磯の源太 抱寝の長脇差」が大絶賛され、わずか22歳の若さで巨匠の仲間入りを果たした。若き天才監督の名を欲しいままに、「盤嶽の一生」「街の入墨者」などの名作を次々に発表するも、1937年、中国戦線に出征。中国各地を転戦後、翌38年、中国河南省開封市の病院にてわずか28歳で戦病死した。

▼製作のデジタル・ミームでは、山中監督の姪御にあたる原田道子さんと映画評論家・佐藤忠男氏の対談を07年6月に、山中家の菩提寺である京都・大雄寺で実施。山中監督生誕100年にあたる今年、シネ・ヌーヴォで12月19日から始まるシネマテークプロジェクト第2弾「生誕百年 映画監督 山中貞雄」にて上映することとなった。

▼ドキュメンタリー映画「貞雄に皆さんのことく」は約60分の映像。緑美しい大雄寺の庭を背景に、生前の山中監督を知る貴重な身内である原田さんと佐藤氏の対談映像を収めた。身内のみが知る「素顔の山中貞雄」とその時代を語る貴重な内容となっている。

▼山中貞雄（やまなか・さだお）Ⅱ1909年11月8日、京都生まれ。27年、京都市立第一商業学校の一年先輩であった、マキノ正博を頼って、マキノ御室撮影所へ入社。嵐寛プロ、東亜キネマを経て日活撮影所へ移籍。わずか5年余りの監督生活で発表した監督作品は26作品（応援監督2作品を含む）。フィルムが現存するのは、「丹下左膳余話 百萬両の壺」「河内山宗俊」「人情紙風船」の3作品のみ。